

「平成 2 2 年度夏期授業実践講座」 実施報告

講座名	「社会科授業実践講座」
講師	加藤 好一 氏（琉球大学准教授）
実施日時	平成 2 2 年 7 月 2 6 日（月） 9：30～12：00
参加者	23人
講座内容	<p>「つまらない」から「楽しい」へ ～社会科学習の向上・3つのチャレンジから</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆資料の効果的な使い方 ◆視点を持って授業の様子を見る（資料：ビデオに撮った授業風景） ◆グループ討議・まとめ
参加者の感想・質問など	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本日の加藤先生の講座は、とても楽しく、あっという間に2時間が経ってしまいました。新旧の憲法の違いを教えるのに、2枚の写真を使って楽しく学ばせる方法にくらべ、自分つまらない方法で指導していたなど反省させられました。 ○ 先生の授業実践のビデオを見て、子どもたちが活発に意見を出し合い、しっかりと意見交換ができているところがすばらしいと思いました。意見が出せるということは、子どもたちがいろんな知識を持っているということであり、それは教師がたくさんの知識を子どもたちに伝える技術を持っているということだと実感しました。 ○ 教師の工夫で、抽象的なものを具体的なものに置き換えるだけでも、授業は楽しくなるんだなと感じました。また、社会科で大切なことは見えないものを見る目（気づく目）を養うことであると感じました。 ○ 中学校ですが、とても勉強になりました。小学校の先生方が実践なさっている「いかに子どもたちを授業に参加させるか」についての工夫は、中学校でも教材研究の中で取り組んでいきたいです。 ○ 1学期後半からすぐに使える技術をたくさん教えて頂きました。先生の社会科教育にかける熱意や思いがすごく伝わりました。
	 